

積載物と積載物の制限について

注意

本製品は荷物用の積載キャリアです。
右記のものは、**積載しないでください。**

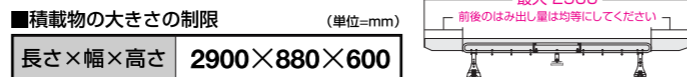
[スキー板・ストック、スノーボード、サーフボード、自転車、コンテナ、
ウインドサーフボード・ポール・ブーム、ボート、カヌー、カヤック等]

注意

最大積載重量は**60kg**までです。過積載は絶対に行わないでください。
使用状況によっては、60kg未満でも屋根や雨ドイの変形及び、キャリアが破損する場合があります。
また過酷な使用を行うことにより積載能力は変化し低下いたします。

注意

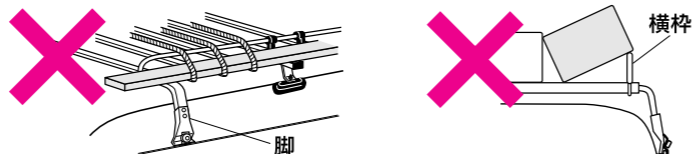
右記の大きさを超える荷物は積載しないでください。
又積載物がキャリアからはみ出す場合は、
はみ出し量は前後均等にはみ出すようにしてください。



積載方法について

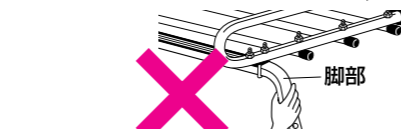
注意

キャリアの脚部や横枠の上に
荷物を積載しないでください。
→積載物が確実に固定できないため、
脱落事故を起こします。



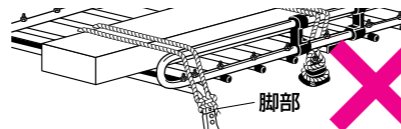
注意

積載物をキャリアに積載の際は「脚部」に手を掛けたり、捕まったりして積載物を積載
しないでください。また、どうしても、補助的に脚部に捕まると積載物を積載する際は、
脚部を手前に引っ張らず体重を掛けないようにゆっくりと積載してください。
→脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し、
破損及び、脱落の原因になります。



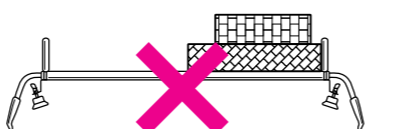
注意

積載物をキャリアに固定の際は「脚部」を利用してロープ等で固定しないでください。
→脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し、
破損及び、脱落の原因になります。



注意

積載物の重量の配分は、どちらか(左右)に片寄らないようにして、
できるだけ均等に平坦に積載してください。
→どちらか(左右)に積載物が片寄ってしまうと運転に支障が生じたり、
キャリア本体にも変則的な力が掛かり、破損や脱落、事故の原因に
なります。



注意

積載物をキャリアに載せたり、降ろしたりする際はキャリアに衝撃が
掛からないように、ゆっくりと行ってください。
→強い衝撃[集中的加重]がかかることにより、キャリアの破損及び、
脱落の原因になります。



脱落事故防止のために

〈走行前〉

注意

走行前には、**積載物が確実に固定されていること**を確認してください。
→積載物がガタツキ、脱落事故を起こします。

注意

走行前には、必ず**各締め付け部にユルミが無い**かを点検してください。
→締め付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。

〈走行中〉

注意

キャリア使用時は法定速度を守り、**急発進・急ハンドル・急ブレーキ**等の
過酷な運転は避け、悪路では徐行してください。
→キャリアや積載物がズれる等、危険な状態に変化することがあります。
やむを得ず、急ブレーキ等を行なった時は、速やかに停車し異常が
無いことを確認した後で、走行してください。

注意

高速走行や強風時は、より多くの風圧がかかるため、
十分ご注意ください。

注意

走行中に屋根からキャリアや積載物のガタツキ音等の異常音が聞こえた場合は、
速やかに停車し、キャリア及び積載物の状態を確認してください。
→「ビュービュー」という音はキャリアの風切り音ですので、異常音ではありません。

注意

キャリアの装着時及び荷物を積載している時は、**車両の地上高が高くなる**ため、
駐車場・高架等の高さ制限がある場所を通過する場合には十分ご注意ください。

〈走行後〉

注意

初期ユルミが発生しますので、**初回30km走行後**には必ず各締め付け部を
増し締めしてください。

保管方法・保守について

注意

- 本体・ネジ類の防錆処理を市販の防錆剤等にて、**組立て時及び1ヵ月に一度**は行なってください。
- キャリアを保管する場合は、きれいに清掃し、
防錆処理を行なった上で、湿気のない場所で
保管してください。
- キャリアの塗装及びコーティングにキズ等が付
きましたら、その部分からサビが発生するこ
とがありますので、タッチペイント等で補修し
てください。

事故が起きた時は

製品の欠陥などにより**万が一事故が発生したとき**
は、**速やかに販売店または当社までご連絡ください。**
事故対応をスムーズに行なうためにも、お客様に
以下のことをご用意していただく必要があります。

- (1) 事故製品の確保…事故発生時のままの状態のもの
(製品をバラさない)
- (2) 損害の内容……損害を受けた現物、また、損害を
証明できるもの
- (3) 事故発生状況……日時、場所、事故発生状況、公共
機関への届出(事故届、紛失届)
(いつ・どこで・何が・どのように)

お客様の誤った組立て・取り付け・使用による事故
等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

ロッキールーフキャリア

STR-333MH(ミニキャブ・クリッパー ハイルーフ車)

ROCKY ROOF CARRIER 取扱い説明書

この度は、ロッキールーフキャリア「STR-333MH」をお買い求めいただきましてありがとうございます。
常に安全にご使用していただくために、「取扱い説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
また、「取扱い説明書」はご使用ごとに必要となりますので大切に保管しておいてください。

なお、販売店にて本製品を取り付けられましたら、「取扱い説明書」を必ずお客様にお渡しください。
製品(組立て・取り付け等)についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は当社までお問い合わせください。
誤った組立て、取り付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

組立て・取り付け前の注意

注意

本製品は旧ミニキャブ(U60系)・旧クリッパー(U70系)ハイルーフ車専用キャリアです。
その他の車種には絶対に取り付けしないでください。

注意

キャリアの組立て時は、**滑り止め付軍手等**を使用してください。

注意

キャリアの取り付け・取り外し時は、**必ず2人以上**で行なってください。

→車の屋根の傷やへこみ、キャリアの破損の防止になります。

注意

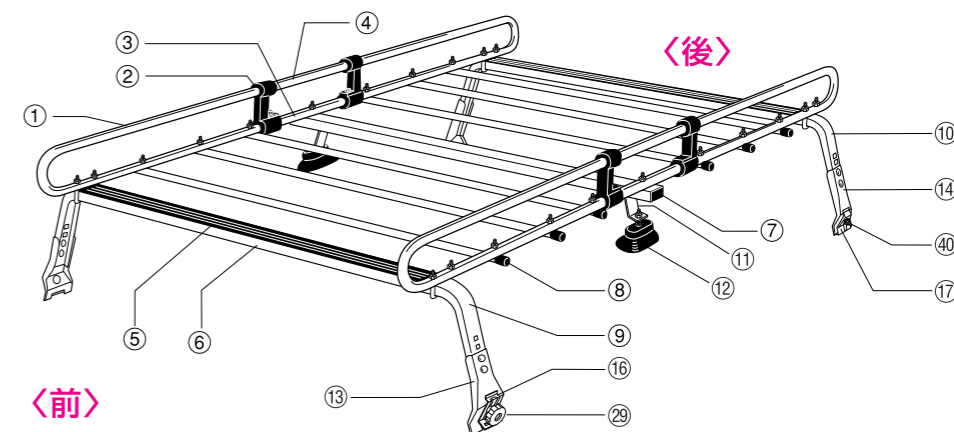
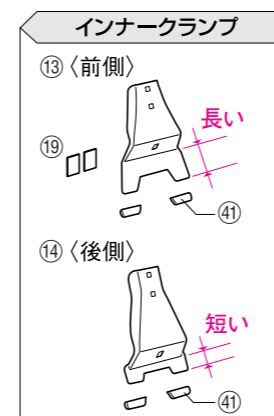
キャリアの取り付け、取り外し及び荷物の積降ろしは、平坦な場所で十分なスペースを確保して
行ってください。車両は、エンジンを停止し、ギアをローギアまたはパーキングポジションに
してサイドブレーキを確実にかけてください。

注意

- 本製品の改造は絶対に行なわないでください。
- [例] ● 荷受け部の全面に板等を敷く ● 部品類の穴あけ・溶接等
● 本製品以外の部品による、組立て及び部品交換等
- 看板等の取り付けによる事故の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。**

構成パーツ

組立て前には、必ず構成パーツをご確認下さい。
万一、欠品がある場合は、お買い求めの販売店又は当社までお問い合わせください。



NO.	部品名称	使用数	NO.	部品名称	使用数	NO.	部品名称	使用数	NO.	部品名称	使用数
①	U型サイドフレーム	4	⑫	屋根ゴム	2	⑲	⊕丸ネジ M6	12	⑳	安全キャップ	4
②	コネクター	4	⑬	インナークランプ(前)	2	㉑	平座金 M8	6	㉒	ウェルナット	2
③	パイプ(穴・有)	2	⑭	インナークランプ(後)	2	㉓	平座金 M6	10	㉔	ナイロンワッシャー	22
④	パイプ(穴・無)	2	⑮	インナーフック	2	㉕	バネ座金 M8	4	㉖	ゴムパッキン	12
⑤	ラバー	2	⑯	アウタークランプ(前)	2	㉗	バネ座金 M6	30	㉘	⊕タッピングビス5ミリ	2
⑥	フレームチャンネル	2	⑰	アウタークランプ(後)	2	㉙	六角ナット M6	30	㉚	バネ座金M5	2
⑦	フレームパイプ	1	⑱	アウターパッキン	2	㉛	六角ナット M8	2	㉜	六角ナット M8	2
⑧	キャップ付パイプ	6	⑳	塩ビシート(前用)	4	㉝	六角ボルト M6	2	㉞	インナー保護キャップ	8
⑨	脚ステー(前・M刻印)	2	㉟	U ボルト	4	㉟	⊕丸ネジセット M5	2			
⑩	脚ステー(後・B刻印)	2	㊱	角根ボルト M8	4	㊱	⊕六角ボルトセット M6	2			
⑪	脚ステー(センター)	2	㊲	角根ボルト M6	8	㊲	保護シート	2			

Rocky+ ロッキープラス株式会社

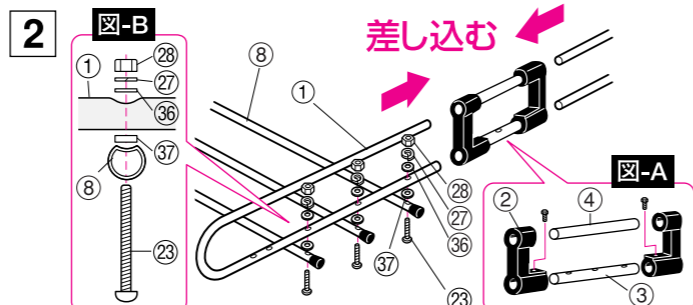
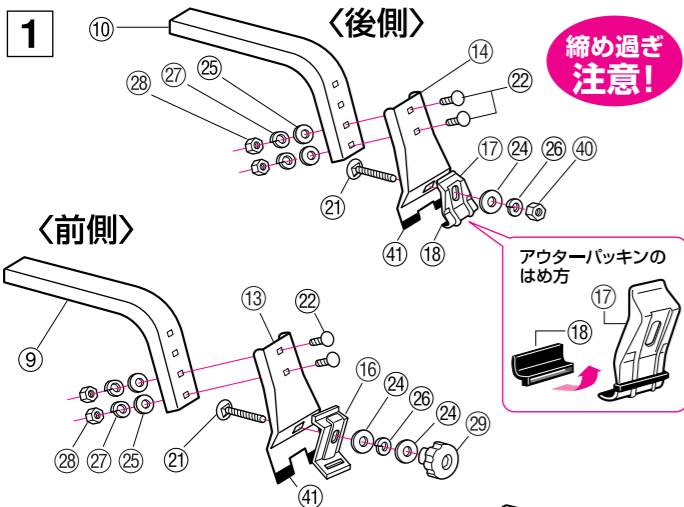
名古屋市守山区元郷2-107 TEL 052-778-7876 FAX 052-778-7718

http://www.rocky.ne.jp rocky@rocky.ne.jp

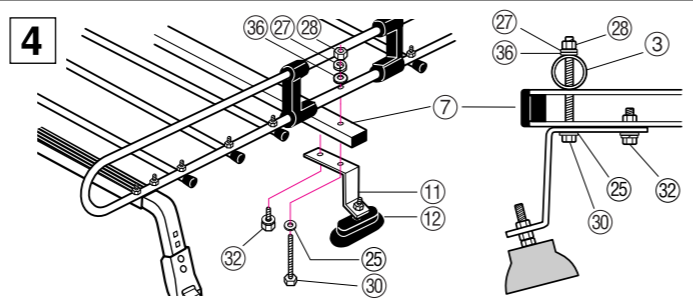
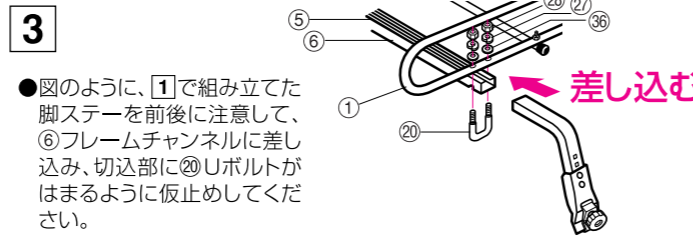
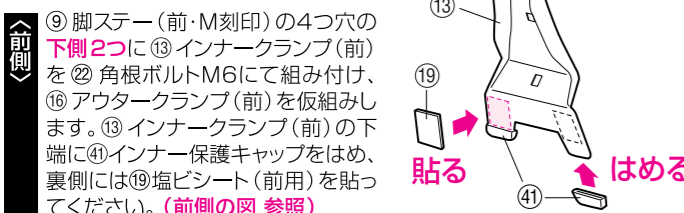
組立方法

注意

キャリアの組立時にラチェットレンチを使用する場合は締め過ぎによるボルトやナットの破損の恐れがある為締め過ぎには十分に注意して締付けてください。締付けの目安はパネ座金の口が閉じてから90度程度回るぐらいです。



●図-Aのように、②コネクターに③④パイプ(穴・有/穴・無)を組み立て、②コネクターの上・下に注意して、①U型サイドフレームを両側より差し込み、⑧キャップ付パイプを図-Bのように仮組みします。
●⑧キャップ付パイプと②コネクターが当たるところまで再度①U型サイドフレームを差し込み、②コネクターに付いている六角ボルトと②③丸ネジM6をしっかり締め付けます。



●図のように、①脚ステー(センター)と⑩屋根ゴムを組み付け①脚ステー(センター)を⑦フレームパイプに②④六角ボルトセットM6、③六角ボルトM6にて仮締めし、コネクターの③パイプ(穴・有)に組付けます。

注意

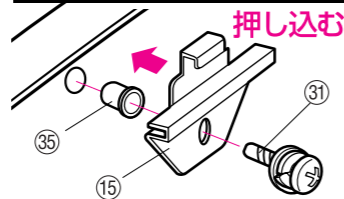
締め過ぎによる②角根ボルトM6の破損の恐れがある為、締付けには十分に気をつけてください。締付けの目安はスパナで②パネ座金M6の口が閉じてから90度程度回るぐらいにしてください。
【参考締めトルク：5.0N・m (0.5kgf・m)】

取付方法①

上側のウェザーストリップラバー

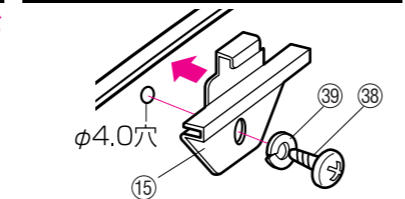
フロントドアを開けて、左図Aの穴の有無を確認してから作業を行ってください。

穴があいている場合



1. 上側のウェザーストリップラバーの全体を確実につかんで図のように外します。(注意図参照)
2. キャビンのAにある取付位置(ポンチマーク)にドリルでφ4.0の下穴をあけます。(左右各1箇所)
3. ⑩インナーフックを取付位置に押し込み、⑩インナーフックをしっかりと押さえつけながら、③④丸ネジセットM5でしっかりと締め付け、上側のウェザーストリップラバーを元のように取付けます。

穴があいていない場合



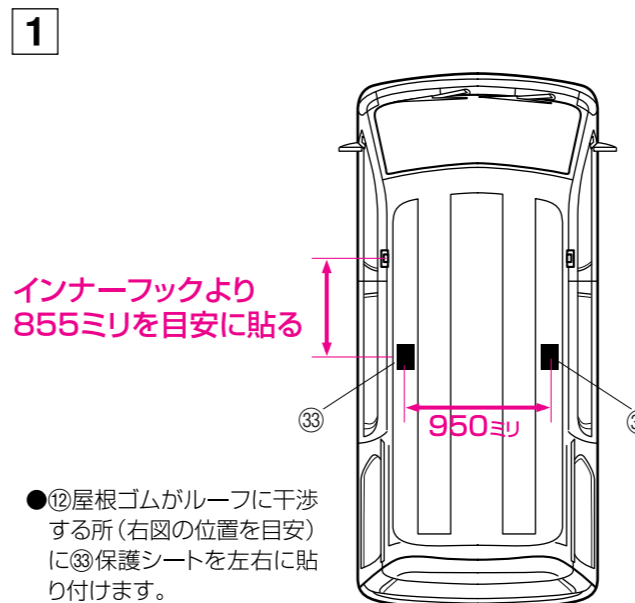
1. 上側のウェザーストリップラバーの全体を確実につかんで図のように外します。(注意図参照)
2. キャビンのAにある取付位置(ポンチマーク)にドリルでφ4.0の下穴をあけます。(左右各1箇所)
3. ⑩インナーフックを取付位置に押し込み、⑩インナーフックをしっかりと押さえつけながら、③④丸ネジセットM5でしっかりと締め付け、上側のウェザーストリップラバーを元のように取付けます。

注意図

●上側のウェザーストリップラバーのリップ部分のみ引っ張ると、切れてしまう場合があります。

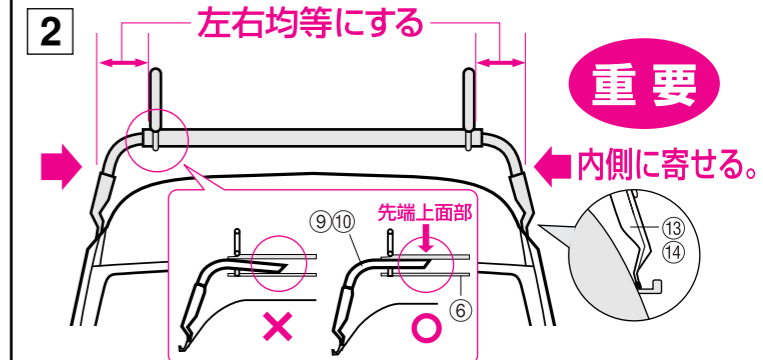


取付方法②



インナーフックより855ミリを目安に貼る

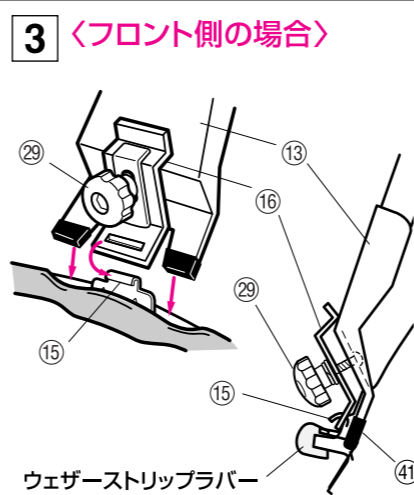
●⑫屋根ゴムがルーフに干渉する所(右図の位置を目安)に③保護シートを左右に貼り付けます。



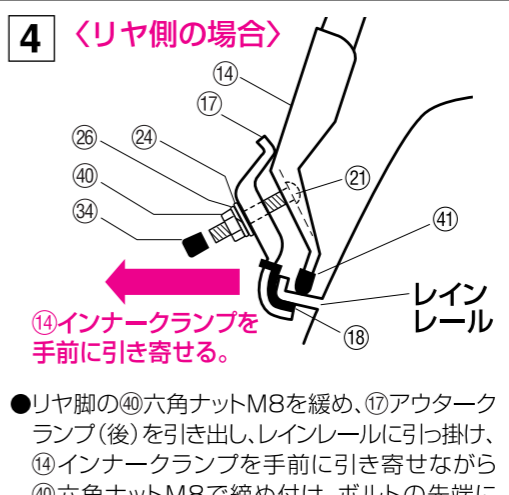
●ルーフにキャリアを載せ、⑬⑭インナークランプをレインレール内側に寄せます。左右の脚ステーが左右均等になるようにして、⑳Uボルトでしっかりと締め付けます。その時、⑨⑩脚ステーの先端上部が⑥フレームチャンネルに密着するようにし、⑬⑭インナークランプがレインレールの内側にあるか確認してください。

注意

この作業を怠ると異常音の発生やキャリアの強度不足による破損の原因になる為必ず行ってください。



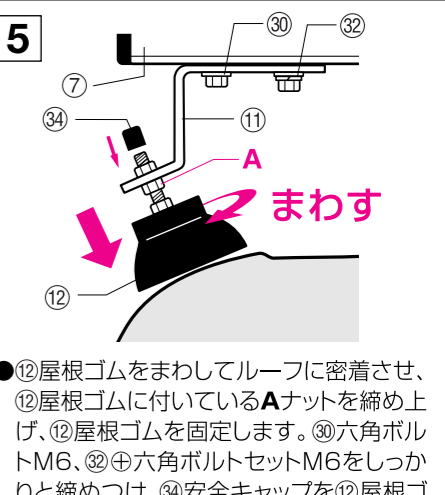
●フロント脚の⑨締め付ネジを緩め、⑩アウタークランプ(前)を引き出し、⑮インナーフックに引っ掛け、⑨締め付ネジを締め付けます。



●リア脚の⑩六角ナットM8を緩め、⑮アウタークランプ(後)を引き出し、レインレールに引っ掛け、⑭インナークランプを手前に引き寄せながら⑩六角ナットM8で締め付け、ボルトの先端に⑭安全キャップをはめます。

注意

この時、六角ナットM8の締め付け目安は⑨パネ座金の口が閉じる程度にしてください。

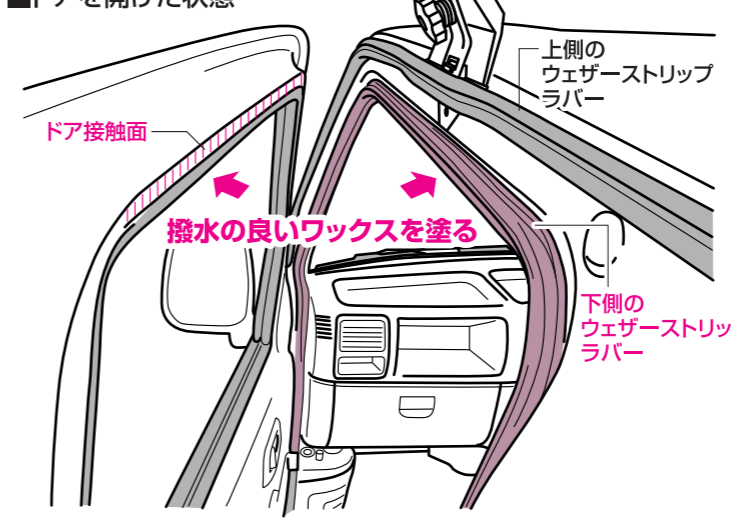


●⑫屋根ゴムのまわしてルーフに密着させ、⑫屋根ゴムに付いているAナットを締め上げ、⑫屋根ゴムの固定します。⑨六角ボルトM6、③④六角ボルトセットM6をしっかりと締めつけ、⑭安全キャップを⑫屋根ゴムのボルトに取り付けます。

●最後にキャリアを前後左右に揺すり、ガタツキが無いことを確認してください。ガタツキがある場合は、再度取り付け直してください。

雨漏りについて

■ドアを開けた状態



本製品は車両の個体差(バラツキ)によりキャリア装着後、新車や長期保存車などを問わず、フロントドア周りから雨漏りする場合があります。原因として、ドアを閉めっ放しの状態が長く続き、下側のウェザーストリップラバーの硬化にて弾性が低下し、ドア接触面との密着力が弱くなることにより、わずかな隙間でも雨漏りする場合があります。

雨漏りの対策は下側のウェザーストリップラバーとドア接触面に「撥水の良いワックス」を塗るにより止まる場合があります。これは「撥水の良いワックス」の効果により、雨などの水をはじく働きと、ラバーを軟化させ弾性を回復して密着力を向上させます。以上の事も定期的なウェザーストリップラバーとドア接触面に「撥水の良いワックス」を塗ることをお勧めいたします。